

そよ風

2025年
No.146

横浜市港北国際交流ラウンジ

KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

とくしゅうごう 2025 ワクワクまつり 特集号 祝 ラウンジ 25周年 しゅうねん



10月12日の日曜日、ワクワクまつりが開催されました。天気にも恵まれ、たくさんの来場者でにぎわっていました。毎年大好評の「世界のファッションショー」ですが、今年は自前のお国の民族衣装の方が6割と多くいていつも以上に味わい深く見応えがありました。お子様の参加も多く、会場は満員で盛り上がっていました。



えいねんかつどうひょうしょうしき 永年活動表彰式

本年度は、20年表彰1名、10年表彰10名の計11名が表彰されました。長期にわたるボランティア活動、本当にありがとうございます。そして、さらに今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

こ 子どもの絵日記展 え に っ き て ん

「ニューカマー子どもの教室」は、外国につながる小中学生の日本語や学校の勉強のサポートをしています。彼らが思い思いに描いた絵日記の展示です。個性的な視点や学習の成果が見える人気のコーナーです。



にほんごぎょうしつがくしゅうしゃ

日本語教室学習者による

にほんご

日本語スピーチ

今年は、11人の学習者が日本語スピーチをしました。
紙面の都合上、一部を割愛して掲載しています。



ゴーヤについて

リ コウ さん

中国 出身

ゴーヤはウリ科の植物で、スイカやキュウリ、メロンの仲間です。特徴は、やっぱり「苦い」ことですよね。実は熟すと黄色くなって、苦味が弱くなり、明らかな甘みがあります。でも、ゴーヤの栄養と考えると、人々は一般的に青いゴーヤを収穫して食べます。

私が子どもの頃、初めて親にすすめられて食べたときは、「こんなに苦いもの、どうして食べるんだろう？」と不思議で仕方ありませんでした。ところが、大人になると少しずつ食べられるようになります。薬の研究者として、仕事をするようになった時、糖尿病を治療するための潜在的な材料を探している間に、ゴーヤについてより深く理解することができました。実はこれ、舌の味覚細胞が年齢とともに減って、苦味を感じにくくなるからだそうです。ゴーヤは「半世瓜」とも呼ばれますが、それは「人生の後半になって美味しく感じる瓜」という意味なんですね。

そして中年になると、体調のピークを過ぎて健康を意識し始めます。



すると自然に、ゴーヤの持つ栄養や効能に目が向いて、食卓に置かれてきました。子どもの頃はあんなに嫌だったのに、不思議ですよ。

この経験を通して気づいたのは、「自分の認識は、経験や知識に左右されている」ということです。身近なものでも、知らなければ一生その価値に気づけないことがあります。だからこそ、学び続けたり、人と交流したりすることが大切なんだと思います。

これから皆さんと一緒に、もっと面白い発見をしていけたら嬉しいです。



子育てにおいて、横浜とモントリオール、メキシコシティを比べてみてどうですか？

ロペス マリナ さん

メキシコ 出身

メキシコシティで生まれ、30歳の時にカナダに移住し、10年間暮らしました。モントリオールで結婚し、二人の子供を授かりました。そして2年前に横浜に引っ越しました。今では、5歳と8歳の二人の子供を横浜で育てることができて感謝しています。なぜでしょうか？

ちょっと考えてみましょう。

メキシコでは、一年中大候に恵まれ、母親を助けてくれる大家族に恵まれています。しかし、安全面が大きな懸念事項でした。

メキシコは、世界的に見て、故意殺人の発生率が最も高い国ランキングで19位にランクされています。

カナダは安全ですが、子育てには少し厳しい気候です。11月から4月まで雪が降ります。そのため、子供たちを外で遊ばせる準備をさせるのは少し大変です。しかも、外で遊べる時間は長くなく、選択肢もあまり多くありません。

横浜の夏はとても暑く、子供たちは宿題をしなくてはなりませんが、プール、博物館、屋内プレイパークなど、とても豊かで楽しい施設がたくさんあります。これは他の2都市にはない魅力です。

世界的に、日本は安全で良い価値観と美しい伝統を持つ国として知られています。私たちが移住した時、想像以上に良い場所だと知り、とても嬉しく思いました。

幼稚園のお祭りやイベントは素晴らしい伝統です。それに、他のママ友も簡単にできます。

小学校にも素晴らしい伝統と価値観があります。メキシコには放課後の子供たちの時間は存在せず、親は家族（たいていは祖父母）や有料のベビーシッターに子供の世話を頼らなければなりません。あるいは、子供たちを家に閉じ込めてテレビを見させておくしかありません。

カナダでは、日本のようにたくさんのアクティビティが用意されているのに、それほど楽しい時間ではありません。

横浜には公園がたくさんあることに驚きました。モントリオールよりもさらに多いです。他の都市にはない、ログハウスやプレイパークがあることに気づき、嬉しく



思いました。また、安全に自転車^{あんぜん じてんしゃ}で多くの場所^{おほ ばしょ}に行き、美しい自然^{うつく しい しぜん}を楽しむことができました。メキシコでは自転車^{じてんしゃ}に乗るのは安全^{あんぜん}ではありません。モントリオールでは夏^{なつ}しか楽しめません。コミュニティセンターや図書館^{かん かんしゃ}にも感謝^{かんしゃ}しています。メキシコにはほとんどありません。公共交通機関^{こうきょうこうつうきかん}や医療^{いりょう}もはるかに充実^{じゅうじつ}しています。これらすべてを踏まえると、横浜^{よこはま}は子育て^{こすだ}に最適な場所^{さいてき}の一つだと考えています。安全性^{あんぜんせい}、価値観^{かちかん}、自然^{しぜん}、そして子供^{こども}たちにとってのメリット^{メリット}に、私たちはとても感謝^{かんしゃ}しています。



介護のしごと

ティ シュウミン さん 中国出身

2016年に中国^{ちゅうごく}から日本^{にほん}にきました。きょうは、介護^{かいご}のしごとについて、お話^{おはなし}したいと思います。

私はこれまでいろいろな仕事^{しごと}をしてきましたが、今は介護^{かいご}の仕事^{しごと}に興味^{きょうみ}を持っています。どうして私は介護^{かいご}の仕事^{しごと}に興味^{きょうみ}を持ったのかと言いますと、中国^{ちゅうごく}で介護^{かいご}の仕事^{しごと}を少ししたことがあったからです。とても楽しかったです。その後、飲食店^{いんしょくてん}、喫茶店^{きっさてん}、ネイルサロン^{ネイルサロン}といった仕事^{しごと}を経験^{けいけん}し、日本^{にほん}に来てからは、子どもが小さかったので、崎陽軒^{きやうけん}の工場^{こうじょう}でシュウマイを作る仕事^{しごと}を2年間^{にんねん}しました。工場^{こうじょう}の仕事^{しごと}は同じ作業^{おなじ さぎょう}をくり返して行うので、仕事^{しごと}中は話^{はなし}をすることはできません。

このような仕事^{しごと}の経験^{けいけん}から、自分^{じぶん}はどんなしごとが合うかな、と考えました。私は人と話^{はなし}をする事が好きです。年配^{ねんぱい}の方^{かた}と話^{はなし}をすることは特に問題^{もんだい}はないと思い、介護^{かいご}の仕事^{しごと}が私^{わたし}にとっても合^あっていると考えました。

昨年^{さくねん}の9月^{がつ}から今年^{ことし}の1月^{がつ}まで介護職員初任者研修^{かいごししょくいんしよにんしやけんしゅう}の授業^{じゅぎょう}を受け、1月^{がつ}の試験^{しけん}で無事合格^{ぶじ ぐわく}しました。この研修^{けんしゅう}ではお年寄り^{としより}と話^{はなし}をすることが大事^{だいじ}であると学びました。

介護^{かいご}の勉強^{べんきょう}は専門用語^{せんもんようご}が多く苦労^{くろう}しました。特に私は中国人^{ちゅうごくじん}ですから漢字^{かんじ}は全く問題^{もんだい}ないのですが、ヘルスケア^{ヘルスケア}といった英語^{えいご}の理解^{りかい}が大変^{おな}でした。同じ教室^{きょうしつ}にいた外国^{がいこく}の方は日本語^{にほんご}の会話^{かいわ}や英語^{えいご}は問題^{もんだい}ないのですが、漢字^{かんじ}の専門用語^{せんもんようご}に苦労^{くろう}していました。

その後、N2の試験勉強^{しけんべんきょう}をし、7月^{がつ}に試験^{しけん}を受けました。日本語^{にほんご}の語彙^{ごい}や表現^{ひょうげん}の幅^{ひろ}を広げて介護施設利用者^{かいごしせつりようしや}の気持ちや感情^{かんじょう}を正しく理解^{りかい}できるだけでなく、いろいろなテーマに、より深いコミュニケーション^{コミュニケーション}をとれるようになりたいと思っています。

介護^{かいご}の勤め先^{つと}はこれから決めていきますが、日本語^{にほんご}の能力^{のうりょく}をできるだけ高めて、勤め先^{つと}に迷惑^{めいわく}がかからないように頑張^{がんば}っていこうと思っています。



「アオザイ」について

フェ さん ベトナム 出身

アオザイは、ベトナムの伝統^{でんとうてき}的な女性^{じよせい}の民族衣装^{みんぞくいしやう}です。

「アオ」は上着^{うわぎ}「ザイ」は長い^{なが}、という意味^{いみ}です。

長いチュニックとズボン^{ズボン}を組み合わせて、女性^{じよせい}の優雅^{ゆうが}さを引き立てます。

アオザイは、18世紀頃^{せいきころ}から着^きられてきました。もともとは、王宮^{おうきゅう}や貴族^{きそく}の衣装^{いしやう}として発展^{はってん}しましたが、現在^{げんざい}では誰でも着^きることができます。

アオザイの特徴^{ていしき}は、身体^{からだ}のラインを美しく見せるデザイン^{デザイン}です。素材^{そざい}は、軽^{かる}くて柔^{やわ}らかいシルクやサテンがよく使^{つか}われます。色^{いろ}や模様^{もよう}も多様^{たよう}で、花柄^{はながら}や刺繍^{ししゅう}など、華やか^{はな}さと優雅^{ゆうが}さを兼ね備^{かね}えています。男性用^{だんせいよう}アオザイもあり、女性用^{じよせいよう}よりシンプルで落ち着^{おち}いた色^{いろ}が多いです。

アオザイは、結婚式^{けっこんしき}や卒業式^{そつぎょうしき}などの特別な行事^{とくべつな ぎやうじ}でよく着^きられます。また、旧正月^{きゅうしやうがつ}や祭りなどの伝統^{でんとうてき}的なイベント^{イベント}でも見^みられます。制服^{せいふく}としても使^{つか}われ、教師^{きょうし}、女子高校生^{じよしこうせい}、客室乗務員^{きやくしつじやうむいん} (CA) などが着^きています。

3人の真ん中^{まんなか}が私^{わたし}で、大学卒業^{だいがくそつぎょう}の時に撮^とったものです。ホーチミン市^{ホーチミン市}には「アオザイ博物館^{アオザイ博物館}」があり、さまざまな時代^{じだい}のアオザイが展示^{てんし}されています。ベトナムの文化^{ぶんか}を体験^{たいけん}できる観光スポット^{観光スポット}として、多く^{おほ}のひとに人気があります。

もし、ベトナムを訪^{おもむ}ける機会^{きかい}があれば、ぜひ一度アオザイ^{アオザイ}を体験^{たいけん}してみてください。



えっ、それは何か問題がありますか？

リン さん 中国 出身

先月^{せんげつ}で、私^{わたし}は日本^{にほん}に来てから3年^{さんねん}になりました。

日本らしいルール^{ルール}に対して、この3年^{さんねん}の間^{あいだ}に何か変^{へん}だと感じ^{かんじ}る事は、ほとんどありませんでした。ところが最近^{さいきん}になって、「えっ、それは何か問題^{もんだい}がありますか？」

と感じる出来事は二件あって、今日は、その二つの出来事を皆さんにシェアさせて頂きたいと思います。

一件目は、出張のホテル予約についての出来事です。ある日、私は同僚達と一緒に名古屋で一泊二日の出張をする予定になりました。ホテルはそれぞれ自分で予約し、翌日に集まって一緒に移動する事にした為、みんなのホテルはバラバラになりました。出張から戻っていた時に、カナダ人のAさんの上司、日本人のBさんがAさんに向けて「次はみんなが同じホテルに集まった方が良いでしょう」とコメントをしました。この話を聞いて私は「えっ、バラバラにして何か問題がありますか?」と思いました。

二件目は、コーヒーの選択についての出来事です。ある日、同僚達と一緒に客先の工場を訪問して、グループの中の外国人は、私と先程のAさんでした。昼食が終わった後、客先に工場内のカフェに案内頂き、コーヒースービスを頂く事になりました。客先が私達の注文を聞いてくださり、私を含め、みんなはほぼアイスコーヒーを頼みましたが、Aさんは「ホットコーヒーをお願いします」と注文しました。その瞬間、日本人の同僚達は「あれ?」の様な反応を示しました。この反応を見た私は「えっ、ホットコーヒーは何か問題がありますか?」と思いました。今になって「考えてみると、これらの出来事は、恐らく「自立つ事を避ける」と「相手の立場を考える」、という見方から説明できるかもしれません。ホテルが他の人と違うと自立つ事になりますし、コーヒーが一人だけでホットであっても自立つ事になります。同調する事は勿論メリットがありますが、この世の中には、そもそも色々な人がいるこそ面白いのだと思います。無理に同調に拘り過ぎると、かえって逆効果になる事もあるではないのでしょうか? 又は、一人だけがホットコーヒーを注文すると、確かに客先に少し余計な手間が掛かってしまうかもしれませんが、ホットコーヒーくらいであれば、客先はそれ程気にしない可能性もあります。相手の立場を考える習慣があり、日本人は優しいと評価されますが、考え過ぎると、相手の気持ちを自分で決めてしまう事もあるのではないのでしょうか? そして、いつもその様に気を使い過ぎていると、少し疲れてしまいませんか? もう少し気楽に生活してもいいのではないかと、私は思います。



日本のアニメについて

リ カナン さん 中国 出身

私にとって、日本といえば、やっぱりアニメです。小さいころからたくさんのアニメを見て育ちました。まだ学校に行っていない時から、アニメに夢中になっていました。最初に見たアニメは『ドラゴンボール』だったと思います。あの不思議な世界と熱いバトルシーンにとてもわくわくしました。

小学生になると、もっとたくさんのアニメを見るようになりました。特に印象に残っているのは、『聖闘士星矢』、『デジモン』、『ドラえもん』、『ナルト』、『ワンピース』、『名探偵コナン』などです。これらのアニメは中学生のころまでずっと私のそばにありました。感動的な場面を見ると、キャラクターと一緒に喜んだり、カッコいいセリフを反だちと大声でまねしたりして、とても楽しかったです。ときどき、自分もアニメのキャラクターになったような気分になって、「中二病」だったのかもしれませんが。「中二病」というのは、本来は思春期に大人ぶったり、自分を特別だと思ったりすることを指しますが、アニメファンの間ではキャラクターのセリフや動きをまねすることも「中二病」と呼ばれています。

でも、高校に入ってから勉強が忙しくなり、両親にもテレビの時間を制限されて、アニメを見る時間が少なくなりました。大人になるにつれて、子どものころのようにアニメの新しい話を楽しむにす気持ちは少なくなった気がします。でも、毎日を静かに、平和に過ごすのも悪くないと思っています。

最近では『進撃の巨人』と『鬼滅の刃』を見ています。どちらもとても面白いので、まだ見ていない人にはぜひおすすめしたいです。



スリランカの紅茶

カンチャナ さん
スリランカ 出身

すりらんかは、せかいてきにゆうめいなこうちゃのくにです。

むかしは「せいろん」とよばれていました。そのため、わたしたちのこうちゃは「せいろんていー」として、せかいじゅうでにんきがあります。

すりらんかのこうちゃは、さんちによってあじやかおりがちがいます。こうちの「うば」はしっかりしたあじ。ちゅうちの「きゃんでい」はやさしいあじ。ていちの「るふな」はこくがふかいあじです。

ぱっけーじにある「らいおんまーく」は、ひゃくばーせんとすりらんかさんのこうちゃというあかしです。

すりらんかでは、おきゃくさんをむかえるとき、かならずこうちゃをだします。こうちゃは、ひととひとをつなぐあたたかいのみものだからです。

もしすーぱーで「せいろんていー」をみかけたら、ぜひためしてみてください。



にほんかくち あし
日本各地を足でめぐって
ざいにち ねん ぶんか たび
～ 在日5年、文化の旅

チョン ボジュン さん 中国 出身

日本に来たばかりの頃、私の生活は仕事を中心でした。しかし、時間が経つにつれ、もしもずっと慣れた環境の中だけにいたら、私が見ている日本は氷山の一角に過ぎないということに気づき始めました。そこで、休みの日を利用して、日本の各地へ出かけるようになりました。

最初に訪れたのは、京都と奈良です。夏の緑の中、古都の魅力を見て歩きました。その後、春は桜、秋は紅葉と、季節ごとに違う景色を観ながら、伝統文化と「静かな美しさ」に惹かれました。

その後、3年前の冬に、友達と一緒に札幌と小樽を訪れました。小樽では、雪に包まれた街を歩いて、おとぎ話の世界に迷い込んだような気持ちになりました。札幌の雪景色と美味しい食べ物も忘れられません。

昨年、の年末年始には東北地方を巡りました。福島から、青森までです。この時も友達と一緒にでした。私たちは、人気の観光スポットをあえて避け、地元の人しか知らないような「穴場」を探し、その土地ならではの美味しい料理を食べながら、店主とお話して、地域の文化を深く知ることができました。たくさんの暖かい思い出が残りました。

日本各地を巡る中で気づいたことは、それぞれに誇れる「名産品」があり、それを積極的に発信していることです。こうした名産品は、地域の気候や地理的特徴を反映しているだけでなく、地方経済の活性化や文化の継承にも大きく貢献



しています。

過去5年間を振り返ると、「足で日本を巡る」過程は、実は「心で日本を知る」というものでした。訪れた街、人との出会い、交わした会話が文化交流の積み重ねです。この旅は、単なる観光ではなく文化体験そのものでした。



フィリピン ワシ
～守りたい美しい鳥～

ラヤ レイ アン さん

フィリピン出身

今日は、私の国フィリピンだけにいる、とても特別な鳥を紹介합니다。

名前はフィリピンワシです。フィリピン語では「ハリボン」といい、「鳥の王さま」という意味です。フィリピンワシは、ミンダナオ島やルソン島などの森にすんでいます。とても大きくて、羽を広げると2メートル以上になります。青っぽいグレー目、大きくくちばし、ライオンのたてがみのような羽もあって、とてもかっこいいです。フィリピンワシは、サル、ヘビ、コウモリ、鳥などを食べます。だから「サル食いワシ」ともよばれています。目がとてもよく見えて、高い木の上からエサを見つける、すごいハンターです。

今、このワシは絶滅の危機にあります。野生にいるのは、たった400羽以下しかいません。そして、2年に1回しか卵をうまないの



で、なかなか増えません。でも、希望もあります。フィリピンには「フィリピンワシセンター」という施設があって、けがをしたワシを助けたり、赤ちゃんワシを育てたりしています。多くの方がフィリピンワシを守ろうとがんばっています。フィリピンワシは、フィリピン人にとって、ゆづ気とほこりのシンボルです。みなさんも、いつかフィリピンに来て、この美しいワシを見てほしいです。



てんぶ くに みりよく
天府の国の魅力

リュウ モンセイ さん 中国 出身

今日は中国の成都を紹介합니다。成都是四川省の大きな町で、日本から飛行機でだいたい4時間です。人口は

約1600万人です。

成都といえば食べ物です。火鍋、麻婆豆腐、担担麵、など。とても辛いですが、とてもおいしいです。辛いのが苦手な人も、辛い料理があります。町には小さなお店もたくさんあり、食べ歩きも楽しいです。

成都にはパンダもいます。有名なパンダ保護区で、かわいいパンダを見ることができます。写真も撮れます。それから、成都の人はお茶が大好きです。お茶を飲みながらゆっくり話すのが普通です。公園では太極拳をしたり、おしゃべりを楽しむ人もいます。

成都は歴史のある町です。三国志に関係する場所や、古い街、古い建物も見ることができます。今の成都是便利な町で、地下鉄や大きなショッピングモールもあります。若い人の文化も盛んで、日本のカフェに似た雰囲気もあります。

まとめると、成都はおいしい食べ物、歴史、文化、かわいいパンダ、便利な生活がそろった町です。旅行に



もとてもおすすめです。ぜひ行ってみてください。



日本の四季

キュウ エンエン さん 中国出身

去年の八月に中国の上海から来て、日本で一年間生活しています。この一年間で、日本の四季の美しさをたくさん感じました。

まず、春は花見です。人気の公園には行きませんが、自宅に近い渋谷川の桜を見ました。桜が川の両側にいっぱい咲いていて、本当にきれいでした。

次は、夏祭りです。みなとみらいの花火を見ました。夜空に大きな花火が広がって、「わあ!!」と声を出してしまいました。暑かったけれど、とても楽しかったです。

秋になると、紅葉がきれいでした。高尾山で紅葉を見ました。赤や黄色の葉っぱが山に広がって、まるで絵のようでした。写真を撮る人がたくさんいました。



そして、冬です。長野で雪だるまを作ったり、スキーをしたり、子どものように遊びました。とても寒かつ

たですが、心はあたたかくなりました。

この一年間で、日本の美しさをたっぷり体験できました。みなさんも、ぜひ四季のある日本をたくさん楽しんでください。

司会を務めた皆さん



日本語スピーチ第1部は、キン キさん（中国）第2部は、チン セイさん（中国）が司会を務めました。

お国自慢

今年は4人の日本語学習者が、それぞれ次の3つのテーマについて

お話しました。①料理じまん ②自然や有名な場所じまん ③ここが面白いよ、私の国しょうかい

参加されたのは、韓国のイ ウンヒさん、中国の王世鵬さん、オーストリアのアニカさん、ミャンマーの飛田スーさんです。それぞれ個性的な内容で興味深かったです。



ミャンマー 気球で巡るバガン遺跡、韓国 慶州の月池 水に映る館、オーストリア 世界最大の氷の洞窟 アイスリーゼンヴェルテン（アイスリーゼンヴェルト）、中国 大連 星海広場な

どの美しい場所。

そのほかにも、中国のウニが入った高級な水餃子、韓国の若者に入りのホットプレイス、オーストリアのたくさんの種類のパン、ミャンマーには135の民族がいることなど、出身者ならではの情報が聞けました。





ネパール語の歌 rato ra chandra surya
アニタ シレスタさん
アヌグラヒット プラダンさん(ネパール)

とくぎひろう 特技披露



歌 時の流れに身をまかせ (中国語&日本語)
テイ シュウミンさん・リツ ゲイさん (中国)



ギター演奏&歌 (英語)
ロビンソン マットさん (英国)



ネパールのダンス
ブンジャンさん (ネパール)



歌 灰色軌跡 (中国語)
チョウ ヤンヤンさん(中国)



多文化ママカフェ「幸せなら手をたたこう」を皆で歌いました。



防災かるたに興味津々。



まめっちグッズ



1F ケアプラザでは、まめっち
グッズの販売、地域の皆さんの
作品展示、おいしいお店など
見どころいっぱい！





がいこくごたいけん ミニ外国語体験



インドネシア語



テレビ取材を受けました！



ちゅうごくご
中国語



ドイツ語 (オーストリア)



ネパール語



かんこくご
韓国語

毎年大人気の「ミニ外国語体験」には5か国の方が参加してくれました。イツコムテレビ取材も受けました！外国人スタッフによるワークショップでは、中国、韓国、ベトナムのスタッフとゲームや京劇のしおり作りを楽しみました。また今年は、フェリス女学院大学の学生さんたちの「いただきマップ」のパネル展示をしました。



フェリス女学院大学の「いただきマップ」展示



がいこくじん
外国人スタッフのワークショップ



「書道で遊ぼう！」のコーナーは大人気！大人も子どもも、外国人学習者さんも楽しんでいました。ラウンジで伝統文化体験教室の書道をしている河村紫流先生のご指導で、好きな言葉を書いてフレームに仕上げました。



横浜市港北国際交流ラウンジ
KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE
〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町316-1
Tel 045-430-5670 Fax 045-430-5671
E-mail kohokulounge@yokohama.nifty.jp
ホームページ https://kohokulounge.com/



Website



Facebook



Instagram

